

新型コロナウイルス感染症対策について

1 市内感染者の発生状況

(1) 患者数 (8月21日9時現在)



※人口は令和元年10月1日時点の推計人口。

※陽性率 = 陽性件数集計÷新規検査数集計 (陰性確認検査を含まない。)

※陽性率は月曜から日曜の合計で、1週間ごとに更新されます。

患者発生総数 **760人**

※「患者発生総数(速報含む)」は、速報・調査中の患者も含まれます。

※「宿泊療養施設等」は、入院調整中の人を含みます。

※「治癒確認(退院等)」とは検査で病原体を保有していないことが確認できた人(他疾患で入院中の人を含む)。

※速報値のため後日修正される場合があります。

※再陽性等を含む。

新規感染者数の推移

「週別」「日別」を選択

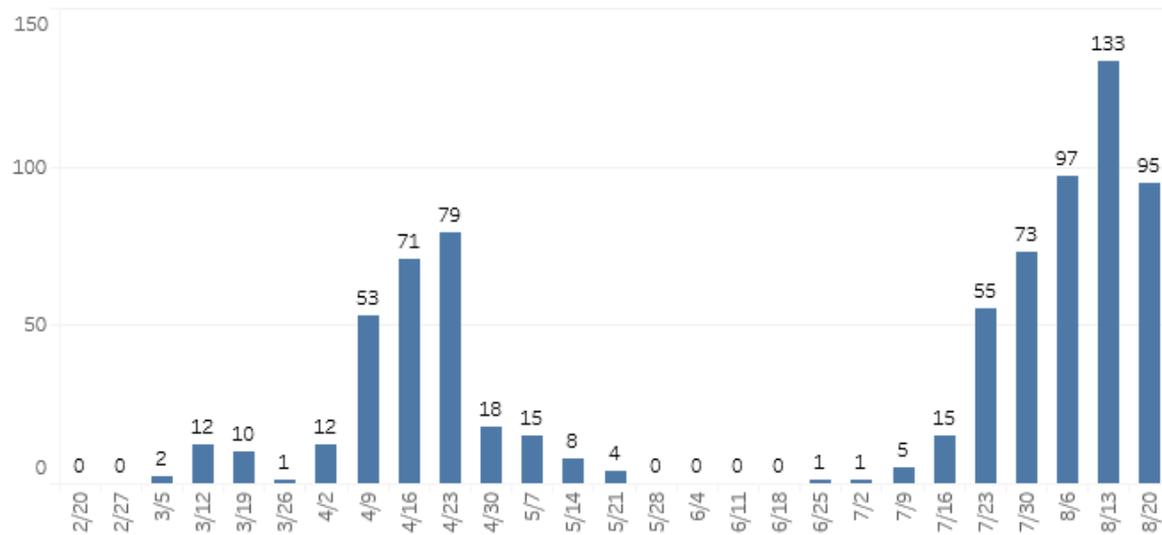
週別

「性別」「年代別」を選択

計

○ 累計

● 小計

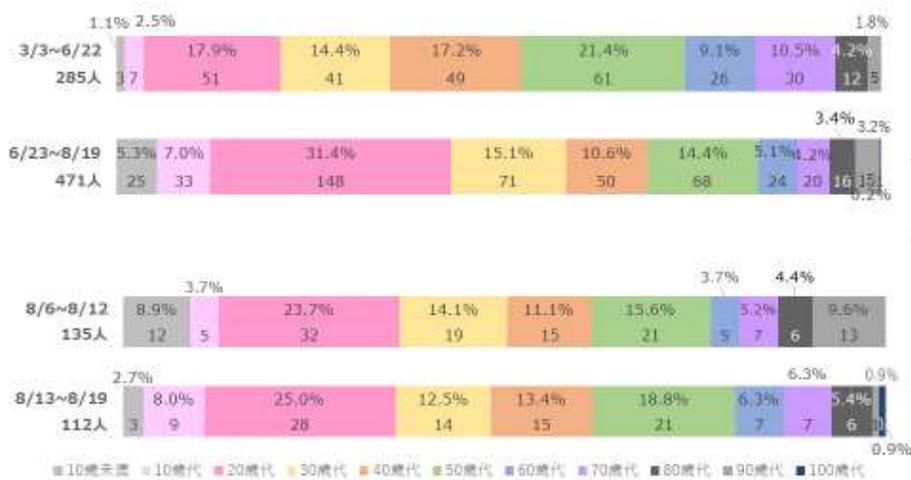


■ 計

※週別の場合、表示の日付までの7日間集計。

※再陽性等を含む。

年代別の感染者数



6/23以降
20代以下が倍増

20.8% → 43.7%
3/3~6/22 6/23~8/19

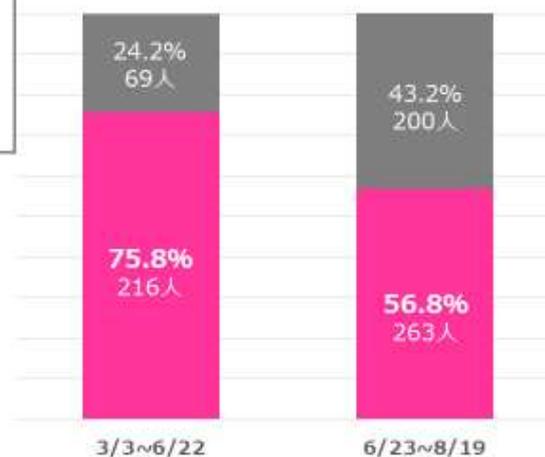
直近1週間
感染者数が減少

135人 → 112人

感染経路の判明状況

半数以上 は感染経路が判明 (速報含む)

今後、保健所の調査により、感染経路「有」の割合が増加する見込み



(2) クラスターへの対応

・ 3月3日～5月20日：7件

認定こども園	6名
介護保険通所事業所	5名
西警察署	12名
中央市民病院	36名
神戸赤十字病院	37名
環境局須磨事業所	17名
神戸労災病院	3名

・ 6月23日～8月19日：6件

市内保育施設	11名
障害児福祉サービス事業所	11名
市内介護施設	25名
市内保育園	9名
市内飲食店	6名
民間病院	6名

国の新型コロナウイルス感染症対策分科会での 感染状況ステージの指標と本市の現状比較

	医療提供体制等の負荷		②療養者数	③PCR 陽性率	④新規 報告数	感染の状況	
	①病床の逼迫具合					⑤直近一週 間,先週一週 間の比較	⑥感染 経路不 明割合
	病床全体	(うち)重症者用					
本市の 現状	最大確保病床占有率 38% (61/160) 現時点確保病床占有率 51% (61/120)	最大確保病床占有率 16% (8/51) 現時点確保病床占有率 21% (8/39)	約2.5人 /10万人 (推計人口 約150万人)	6.9% 8/12 ~8/18	約7.5人 10万人/週以上 (推計人口 約150万人)	8/13~8/19 112人 8/6~8/12 135人	37% 8/12 ~8/18
ステージ Ⅲ	最大確保病床占有率 20%以上 現時点確保病床占有率 25%以上	最大確保病床占有率 20%以上 現時点確保病床占有率 25%以上	15人以上 /10万人	10%	15人/10 万人/週以上	直近一週間 > 先週一週間	50%
ステージ Ⅳ	最大確保病床占有率 50%以上	最大確保病床占有率 50%以上	25人以上 /10万人	10%	25人/10万 人/週以上	直近一週間 > 先週一週間	50%

※感染状況ステージ毎の指標は「第5回新型コロナウイルス感染症対策分科会」(8月7日(金)開催)資料より抜粋

2 感染拡大防止

(1) 相談状況 (1月27日～8月19日)

相談窓口	件数 (件)
①各保健センター (1月29日～)、保健所予防衛生課 (1月27日～)	11,028
②専用健康相談窓口 (2月1日～4月7日)	10,707
③帰国者・接触者相談センター (2月6日～4月7日)	6,089
④新型コロナウイルス専用健康相談窓口 (4月8日～)	39,753
⑤チャットボット相談 (5月20日～) 聴覚障害のある方や電話が苦手な方でも時間と場所を問わず、スマートフォン・タブレット等画面で気軽に相談先や受診先を確認できるツール。	17,873
計	85,450

※専用健康相談窓口最大相談件数：4月13日 1,047件

※専用健康相談窓口直近(1週間)平均相談件数：287件(8月13日～8月19日)

(2) PCR検査等の実施状況

①検査可能数

現在、市内で一日あたり最大 462 検体の検査体制を確保。今後、シスメックス衛生検査所にて機器の追加導入により、9月中旬に最大 562 検体の検査体制を構築できる見込み。

検査機関名	検査能力	最大検査数 (8月11日)	備考
環境保健研究所	142 検体	134 検体	
シスメックス衛生検査所	100 検体	72 検体	9月中旬に検査体制拡充予定 (最大 100→最大 200 検体)
市内医療機関	200 検体	73 検体	
医師会検査センター	20 検体	16 検体	
合計	462 検体	295 検体	

直近 2 週間とピーク時の比較 (陽性件数)

	直近 2 週間		入院・入所患者数 ピーク時 (3月~6月)
	8/12~8/18	8/5~8/11	4/6~4/12
陽性件数	100件	119件	76件
新規検査数	1,449件	1,220件	312件
陽性率	6.9%	9.8%	24.4%

※月曜～日曜の1週間集計。

※新規検査とは、新型コロナウイルス感染症の患者であることが疑われる者等に対し、その診断を目的として行う検査。

※陽性率 = 陽性件数 ÷ 新規検査数

②抗原検査

- ・帰国者・接触者外来、救急外来等で、現在の感染の有無の迅速な診断に積極的に活用 (約 30 分で結果が判明)。
- ・市内医療機関での抗原定性検査キットによる検査状況 (7月30日現在)
検査実施総数：市内 6 医療機関 146 件
- ・PCR検査と同様に、無症状者や唾液を使った検査に対応できる抗原定量検査の専用機器を 8月20日に環境保健研究所に導入。

③ビジネス渡航者向けPCR検査及び証明書発行業務（8月17日から開始）

- (ア) 対象者 ビジネス目的の渡航者でPCR検査と陰性証明を求められている方
- (イ) 実施機関 兵庫県予防医学協会 灘健診センター
- (ウ) 実施日 毎週月、木曜 1日10名程度
- (エ) 実績 2件（8月24日現在）

④積極的検査の実施状況

国基準で全員に検査を行うこととされている濃厚接触者に加え、市独自に、一定の感染リスクがあると考えられる健康観察対象者に対し、積極的検査を実施。

・医療機関、福祉施設

医療、介護従事者が感染した場合、高齢者等のハイリスク者に接する機会があるため

・学校園

大勢の児童、生徒が活発に交流し、一旦陽性患者が出ればクラスターが発生する恐れが高いため

・酒類を提供する飲食店（8月20日から開始）

全国的に繁華街の接待を伴う飲食店における集団感染等が報告されており、神戸市においても市内の繁華街で初のクラスターが発生したため

（集計期間：6月23日から8月18日まで）

検査対象	検査数	（内訳）施設区分	備考
濃厚接触者	423件	医療機関17件, 学校82件, 福祉・保育施設292件, その他32件	国基準による検査
健康観察対象者	1,420件	医療機関587件, 学校502件, 福祉・保育施設324件, その他7件	国基準を超えた積極的検査
合計	1,843件		

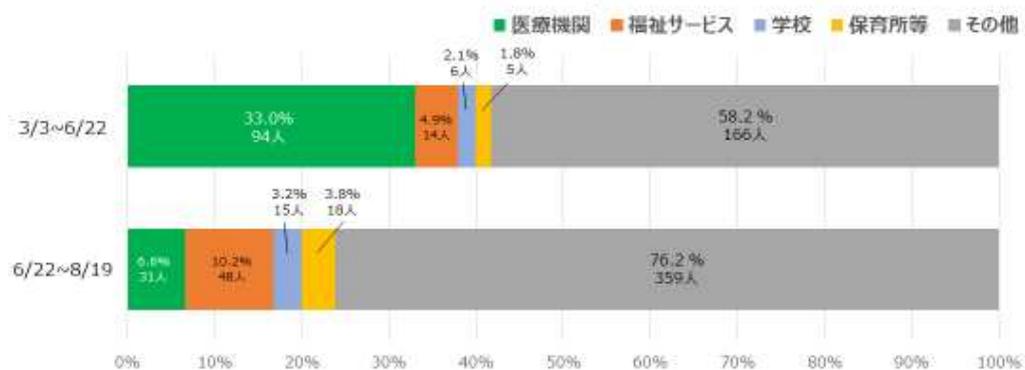
検査の状況



積極的検査 : 濃厚接触者と健康観察者に対して行う検査
 濃厚接触者 : 国基準による検査
 健康観察対象者 : 国基準を超えた神戸市独自の検査

ハイリスク施設での感染拡大防止について

患者発生に伴う 積極的検査 の実施により、
ハイリスク施設での患者発生割合を
41.8%⇒23.8% に減少させている



3 医療提供体制の確保

(1) 外来医療体制

- ・帰国者・接触者外来については、患者の発生状況を踏まえ順次拡大し、8月19日現在市内に11か所設置（医療機関名は非公表）。
- ・検体採取（鼻咽頭拭い液・唾液等）については、市内の病院や診療所など153か所にて実施（7月31日現在）。

(2) 入院医療体制

- ・兵庫県対処方針で示されているフェーズに応じて、感染症指定医療機関である中央市民病院及び適切な感染予防策が取れる市内医療機関の連携のもと必要な病床を確保している。

兵庫県対処方針（8月1日改定）におけるフェーズに応じた本市の入院医療体制

		感染小康期	感染警戒期	感染増加期	感染拡大期 1	感染拡大期 2
県	新規感染者数 〔過去1週間の1日平均〕	10人未満	10人以上	20人以上	30人以上	40人以上
	運用病床数 〔うち重症〕	200床 (40床)	300床 (50床)	400床 (70床)	500床 (90床)	650床程度 (120床程度)
市	市内運用病床数 〔うち重症〕	50床 (16床)	70床 (16床)	100床 (34床)	120床 (39床)	160床 (51床)

直近2週間とピーク時の比較（入院患者数）

	直近2週間		入院・入所患者数 ピーク時 (3月~6月)
	8/19	8/12	4/25
入院・入所患者数	98人	94人	140人
入院患者数	61人	57人	106人
(うち重症)	(8人)	(9人)	(9人)
入所患者	37人	37人	34人

※重症患者数のピークは4/30~5/1の12人。

(3) 医療機関支援

①新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援補助金

(ア) 入院勧告を受けた患者及び擬似症患者の入院受け入れに対して、

- ・患者1人あたり12,000円×入院日数(上限20日)
- ・平日1人1回30,000円、土日祝1人1回60,000円を加算

(イ) 検査のための検体採取に対して、

- ・令和2年4月1日～5月21日(非常事態宣言中)の採取 4,000円×被検査人数
- ・令和2年5月22日以降の採取 3,000円×被検査人数

②こうべ病院安心サポートプラン事業補助金

(ア) 院内感染防止基本対策補助金

個人防護具着脱手順の再徹底研修、iPadなどの感染症患者との遠隔コミュニケーションツールの活用など、市が掲げる取り組みのうち3つ以上の実施に対して、1月あたり30万円

(イ) 院内感染防止追加対策補助金

基本対策に加えて、原則として10床以上の新型コロナウイルス感染症専用ゾーンを1月あたり1週間以上の設置に対して、1月あたり550万円

(ウ) 発熱救急患者受入れ対策補助金

発熱の症状を有する救急患者の入院受け入れに対して、患者1人あたり5万円

③遠隔ICUシステム(9月運用開始)

重症化を恐れて感染症患者が市内医療機関から中央市民病院に早期に転送されることを抑制し、中央市民病院が重症患者への対応を重点的に行うことができるよう、株式会社T-ICUが提供する「遠隔ICU(集中治療支援)システム」を市内の医療機関に導入し、T-ICUに登録している集中治療専門医が待機するサポートセンターとネットワークをつなぎ、生体情報モニター、電子カルテ等の情報を共有してコンサルテーションを行う。

また、中央市民病院が感染症指定医療機関としての実績を踏まえ、T-ICUに対して新型コロナウイルス感染症患者に係る知見を共有し、治療方針等の助言を行う。

④中央市民病院における院内感染に関する報告書

院内感染の発生経過や感染拡大の経路・原因等についての調査結果、今後の感染症対策等についてとりまとめ公表。他の医療機関の今後の院内感染対策に活用。

(4) 宿泊療養施設

施設名	開設日	入居可能人数	入居者数 (8.19現在)	契約期間
株式会社ニチイ学館 ポートアイランドセンター宿泊棟	4月11日	100名	41名	令和2年度末まで
東横INN 神戸三ノ宮駅市役所前	8月19日	110名		令和2年 11月17日まで

※ホテルパールシティ神戸については、令和2年7月30日契約満了

- ・看護師を24時間体制で配置。医師、保健師による健康観察を実施

4 風評被害対策

(1) 風評被害対策の取り組み

感染者は特別視される対象ではなく、守られるべき存在であることを、市ホームページおよび広報紙KOB Eに掲載する。

また、患者や家族が治療や健康観察の経験を踏まえて、その時に感じた事の「メッセージ」や、市民から医療介護従事者等に向けた「応援メッセージ」を発信する。

(2) 患者本人やその家族等コロナの影響を受けた方へのメンタルケア対策の取り組み

各区保健福祉部や精神保健福祉センターの専用電話において、保健師及び精神保健福祉士等がこころの相談を実施。

- ・相談件数 176 件（令和2年2月～7月）

(3) 医療従事者等への心のケアにかかる電話相談窓口の設置

医療従事者や社会福祉施設従事者等に特化して、心のケアを行うことを目的に6月26日から電話相談窓口を設置。

- ・相談件数 21 件（8月19日時点）

5 熱中症対策

(1) 「神戸市熱中症対応指針」（5月29日策定）に沿って周知啓発を実施（5月中旬～9月） （指針内容）

- ・人との距離が保てる時は、マスクを外す時間を増やす
- ・児童の登下校時（十分な距離が保たれているとき）には、マスクの着用はしない。
- ・2歳児未満のこどもは、呼吸がしにくくなるため、マスクの着用はしない。
- ・マスク着用により水分補給を忘れがちになるため、積極的な水分摂取を促す 等

(2) ウォーターサーバーの設置

- ・8月20日現在、市内の公共施設等93か所に設置。
- ・市民がだれでも利用可能なところに設置し、水分補給を促す。

(3) 熱中症予防PR協力店の募集及びフラッグ等啓発物の設置

- ・ 8月20日現在、653か所に啓発物を設置。内訳は、協力店数が320店舗（うち、ウォーターサーバーによる水の提供：113店舗、その他の方法による水の提供：116店舗、広報協力：91店舗）。児童館・学童保育施設が240か所。ウォーターサーバーを設置した公共施設等が93か所。

(4) 熱中症予防キャンペーンの実施

- ・ さんちか夢広場、JR六甲道駅、須磨パティオ、市営地下鉄 西神中央駅において、大学生等を中心とした啓発スタッフが職員とともに、熱中症予防について呼びかけ。
- ・ 広報紙への挟み込み、市役所・区役所での垂れ幕、フラワーロードでのバナー、駅の柱巻き、電車の車内つり広告、デジタルサイネージ、ポスター掲示・ホームページ等で啓発。

6 新型コロナウイルス感染症抗体保有状況に関する調査

本市の戦略的サーベイランスとして、中央市民病院と共同で、同院の外来患者の抗体保有状況サンプリング調査を実施。前回（4月に中央市民病院が独自に実施）の抗体検査の結果との比較など、市内の感染拡大の状況（感染履歴の有無）を検証した。

(1) 調査内容

①中央市民病院研究倫理審査委員会の承認を得て、5月26日から6月7日までに同院の外来を受診した患者1,000人から採取した血液サンプルを使用。

②使用した抗体検査キット

- ・ Abbott（アボット）社製（米国FDA＝食品医薬品局 承認）
- ・ 倉敷紡績株式会社（クラボウ）製

(2) 結果

①アボット社製の抗体検査キット

- ・ 抗体保有（IgG陽性）は、2例。
- ・ 市全体の性別や年齢の分布で計算した陽性有病率は、0.17%となり、市の人口（国勢調査151万8,870人）に適用すると、抗体保有者は2,583人と推定。

②クラボウ社製の抗体検査キット

- ・ 抗体保有（IgG陽性）は、18例。
- ・ 陽性有病率は、1.7%となり、抗体保有者は25,821人と推定。